

令和6年度 空港整備事業費当初予算

令和6年度空港整備事業費当初予算は、空港基本施設（エプロン）の拡張や新ターミナルの整備にかかる建設費など、2025年の国際チャーター便の運用開始・国内線発着枠拡大に向けた空港機能強化の予算と、コンセッション導入以前に発行した市債・借入金等の償還にかかる予算で構成されています。

(単位：千円)

		事業費	財源					
			国補助金	県補助金	市債	運営権対価	港湾事業会計 借入金等	一般財源
神戸空港の機能強化		16,577,395	840,500	-	1,520,000	-	13,594,400	622,495
建設費		16,455,200	840,500	-	1,520,000	-	13,594,400	500,300
(主な 内 訳)	空港基本施設 (エプロン拡張等)	2,700,000	840,500	-	1,520,000	-	-	339,500
	新ターミナル	10,500,000	-	-	-	-	10,500,000	-
	保安検査機器	2,700,000	-	-	-	-	2,700,000	-
	職員費等	122,195	-	-	-	-	-	122,195
市債等元利償還金		1,345,583	-	247,336	-	445,000	-	653,247
合計		17,922,978	840,500	247,336	1,520,000	445,000	13,594,400	1,275,742

【参考】 今後見込まれる機能強化に要する整備費

	概算整備費	財源等の考え方
空港基本施設	約100億円	国庫補助、市債、一般財源等により整備。市債については一般財源等により償還。
新ターミナル	約150億円	借入金により整備。空港施設利用料や民間事業者からの賃料等により償還。
付帯工事 (駐車場等)	約33億円	借入金により整備。使用料等により償還。
小計	約283億円	
メインターミナル	未定	関西エアポート神戸と調整。